

当たり前なことに感謝

会津若松市立謹教小学校六年 廣瀬 世奈

私たちの毎日に、当たり前にある水道。料
理や洗たく、お風呂など、家の中だけでもあ
ちこちで使われています。水道がないと、私
たちの生活はとても不便になっ
てしまいます。
それなのに、当たり前すぎて大切なこと
を忘れてしまいがちです。私には最近、水道
について考えるできごとが三つありました。
一つ目は、家のトイレがとっ
然あふれた時

のことです。朝起きると、トイレが使用禁止
にされていました。ねぼけていたけれど、
今からトイレに入れないと考えたら、急に
不安な気持ちになりました。入れないと思う
とますますトイレに行きたくなっ
て、だけど
使えないので、もっ
と不安になっ
ていきまし
た。お母さんも、おばあちゃんも、青い顔を
していました。多分、私と同じ気持ちだっ
た
のでしょう。
しばらくしてやっ
てきた水道工事のお兄さ

んは、あゝという間にトイレを直してくれました。水が流れる様子を見て、家族みんながほっとしました。トイレの水が使えないと不便になるだけでなく、不安にもなることを初めて知りました。私は、工事のお兄さんにとっても感謝しました。

二つ目は、水道工事をしている道路の下きごとです。作業をしている人が、男の人にどなられていました。道路を通行止めになれ待ちくたひれた車の運転手の人から文句を言っ

ていたのです。そこでは古くなった水道管を新しいものに交かする工事をしていました。みんなの生活をより良くするため、やっていたのに、感謝されるどころかおこられていたのびくりしました。作業の人は、何度も謝っていました。私は胸が痛みました。

最後は、今年の元旦に起きた能登半島地震についてです。ニュース下は、多くの世帯が断水になったと言っていました。古くなった水道管がこわれたことが原因だそうです。

私は、この前の工事現場のことが頭にうかび
ました。あの場所の水道管は新しくなつたの
で、もし地しんが起きてもこわれる心配はな
さそうです。あの時となつていた男の人が二
ユースを見ていたら、おこつた事を少しは反
省するのかな、と思いました。

二ユースの中では、水道が直つた家のおじ
いさんとおばあさんが、工事の人に、なみだ
目で何度もお礼を言つていました。全ての場
所で水が使えないのは、トイレが使えなか

ただけの私とは比べものにならないほど、不
安で仕方がなか、たでしょう。それから、お
じいさんとおばあさんは、じゃぐちに向か
て手を合わせていました。二人とも相談した
わけでもないのに、同じように拝んでいまし
た。私はその姿がとても心に残り、胸が熱く
なりました。

今回紹介した三つのできごとには、水道工
事をしている人が出てきます。これらの事を
通して、私が当たり前に水道を使えるのは、

安全な水を届けられる水道工事の人たちが
いるからだと思がつかしました。

町に出かけると、工事の人たちは、暑い日
も寒い日も外で一生けん命に働いています。
みなさん、いつも私たちの生活を支えて下さ
ってありがとうございます。そのおかげで毎
日安心して水が使えます。コップに注いだ水
は、今日もキラキラとかがやいています。私
は、水道からきれいな水が出る、この当
たり前に感謝して、おいしいお水いただきま
す。